

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	鋼構造座屈小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 鋼構造運営委員会	主 査 名：竹内 徹 就任年月：2009 年 4 月
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	『鋼構造座屈設計指針』2009 年改定後の検討テーマの抽出および研究成果の PD 等を通じての公表，さらに内外の意見を反映した上で出版物としての取り纏め。 2009 年度：指針改定に伴う講習会の実施および内容の再レビューを行い，検討すべき座屈設計に関するテーマの絞り込みを行う。 2010 年度：各テーマごとの具体的な調査・研究を実施し，委員会内での意見交換を通じ修正，充実させる。 2011 年度：取り纏めた資料・提案を大会 PD で公表し，内外の意見を問う。 2012 年度：意見を反映させた資料・提案を出版物として執筆・編集。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	竹内徹 (主査・東京工業大学)，五十嵐規矩夫 (幹事・東京工業大学)，多田元英 (大阪大学)，荒木慶一 (京都大学)，井戸田秀樹 (名古屋工業大学)，金尾伊織 (京都工芸繊維大学)，木村祥裕 (長崎大学)，田川浩 (名古屋大学)，藤本益美 (大阪市立大学)，小崎均 (日建設計)，川口淳 (三重大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2009 年度予算	490,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 『鋼構造座屈設計指針』
講習会	1. 「鋼構造座屈設計指針」改定講習会 <span style="float: right;">参加者数 380 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 指針改定講習会を大盛況の内に実施することが出来た。 2. 新たな検討テーマとして 10 項目 14 テーマを抽出し，担当委員をほぼ確定した。テーマ抽出に当たっては外部研究者を委員会に招いてヒアリングも実施し有用なテーマを設置することが出来た。 3. 検討テーマの幾つかは 2009 年度中に既に検討に着手しており，残りのテーマも 2010 年度に検討を本格化させる目処を立てることが出来た。
委員会活動の問題点・課題	1. 委員が日本各地に散在しているため，交通費がかかる。このため普段は各委員で検討を進め，年 3～4 回に集約して集中的に審議を行っている。 2. テーマの検討には実験等の費用も発生するため，委員各自の外部資金獲得努力が必要となる。